

意見聴取会 意見陳述申込書

天塩川流域委員会 宛

天塩川の河川整備・管理について、次のとおり意見を述べたいので申し出します。

平成17年3月15日

1. 意見陳述申込者

と^りが^な
こ氏名

年齢 67歳

性別 (男) ・ 女

こ住所 名寄市

2. ご意見

サンルダム建設について、建設促進の立場から意見を述べます。

サンルダム建設の目的は、流域住民の「洪水防止と利水にある」と承知しております。ところが、住民の中にはこのダム建設に対し、「環境破壊とダム機能を低評価する見地」から反対を唱える人々がいることも承知しております。一体、どちらの考えが、流域住民に幸せをもたらすのでしょうか。人間の歴史を紐解けば、有史以来今日まで、人々は豊かな自然との共生を基本にしながらも、度重なる自然の猛威との闘いでありました。自然は人間に恵みを与えると共に、度々、大きな損害を与えてきたのです。事、水に関しては、古来より、中国でも日本でも「水を制するものは国を治める」と為政者に与えられた命題でもありました。環境破壊とはどのような状況を云うのでしょうか。私たちの生活が自然から恵みを受用できるかぎり、それは環境破壊ではなく、自然との調和であると私は考えます。人間にとっての環境保全とは何か、全ての動植物をあるがままに保存することでしょうか。人間が自然を利活用するとき、自然に手を加え、多少の変更を迫ることは避けて通れないものであります。

私は、夏の間、よく堤防を歩きます。天気の良いときも雨の日も歩きます。その中で肌で感ずるのは、豪雨のときの名寄川です。水の増水が早く、水位が急に上がり、濁流となります。恐ろしい程の勢いで流れ、もう少し降ったら堤防が決壊するのではないかと身の危険を感ずることがよくあります。また、青天が続いたときには、水量が無くなり、これが名寄川かと思う程で、小川のようになってしまう。このような名寄川の姿を見ていますと、かつてあった大洪水が再び起こりはしないかと不安がよぎります。また、渇水期には、名寄の浄水場は大丈夫だろうかと思えます。近年、生活水準の向上で水の使用量も増えております。また、風連との合併後の浄水供給を考えると、安定した水源の確保は不可欠の対策ではないかと思うのです。

このように考えてきますとき、多目的用途のサンルダムの建設は、是非とも必要であり、一日も早い、着工と完成を願うものであります。

※上記のご意見記入欄が不足する場合は、本意見陳述申込書と併せて別紙で提出して下さい。